

神奈川県産ゲンゴロウ類資料 (1)

高 桑 正 敏

Distributional Records of Dytiscid Beetles from Kanagawa Prefecture (1)

Masatoshi TAKAKUWA

神奈川県産の甲虫相の解明は全国で最も進んでおり、小県であるにもかかわらず、全都道府県に先がけてまもなく3,000種が記録されようとしているが、しかしその中にあって、なおいくつかの群については調査が不十分なままである。ゲンゴロウ類もその1つで、県下のもの*は大場(1981)が13種を報告し、その後、平野(1981; 1984; 1985)や西村・岸(1986)が追加して合計19種となった(岡野, 1941を除いて)ものの、近隣諸県における知見から判断してなお数種以上の追加が想定されていた。一方では、県下における水棲昆虫の棲息環境の減少と劣化は著しく、神奈川県からすでに姿を消したと考えられる種類もあって、早急な調査が望まれていた。

こうした状況をかんがみ、筆者は1986年に神奈川県産のゲンゴロウ類調査を意識的に試みたところ、多くの同好の方々の協力を得て県内未記録種を含む22種を発見することができた。さらに横須賀市自然博物館所蔵の標本中からは、だいぶ古いものであるがやはり県内未記録を含む貴重なゲンゴロウ科甲虫を見出した。この調査はまだまだ不十分で、将来にわたり継続しなければならぬものだが、神奈川県産甲虫類3,000種突破への早期実現のためのささやかな一助として、また調査に協力してくれた方々に報いるためにも、ここにデータをとりまとめ、発表しておくことにした。

本文に先立ち、所蔵標本を見せてくださり、発表を

* 県下のゲンゴロウ類をまとめた報告としては、古く岡野(1941)による14種があるが、これにはデータが一切示されておらず、単に種名の羅列にとどまっている。このため、神奈川県産甲虫類をまとめている平野幸彦氏も岡野(1941)の扱いに苦慮されており、現状としてはほとんど利用していない。したがってここでも岡野(1941)のリストは参考とするにとどめておくことにした。

快諾された横須賀市自然博物館の大場信義博士、文献等について教示いただいた神奈川県昆虫談話会の平野幸彦氏、調査に多大な便宜をはかってくださった同会の秋山秀雄、西村正賢、焼田理一郎の各氏、神奈川県立自然保護センターの高橋和弘氏、神奈川県立博物館の新井一政氏に厚くお礼を申しあげる。また、長谷川道明、岸一弘、中村進一の各氏からは貴重な標本の恵を受けた。ここに改めて感謝したい。

なお、以下のデータのうち、特に断りのないものは筆者が保管している。同様に、採集者名が記されていないものは筆者による。種の配列および学名・和名は佐藤(1985)に従った。

コツブゲンゴロウ科 Noteridae

コツブゲンゴロウ *Noterus japonicus* SHARP

4頭、厚木市七沢, 26. V. 1986

県立自然保護センター内のアサザが密生する小池から得た。コツブゲンゴロウ科は神奈川県からは初めて記録されるものである。

ゲンゴロウ科 Dytiscidae

キボシケンゲンゴロウ *Nipponhydrus flavomaculatus* (KAMIYA)

4頭、逗子市二子山, 22. IX. 1968, 小熊良明採集; 1頭, 同, 14. IV. 1970, 小熊良明採集(横須賀市自然博物館蔵)

森戸川上流の産と思われる。筆者も1962年に同地でいくつかを得たことがある。県初記録種。

ケンゲンゴロウ *Hyphydrus japonicus* SHARP

16♂♂18♀♀, 横須賀市秋谷前田川流域, 4. V. 1986; 1♀, 同, 19. V. 1986

1ヶ所の休耕田から得た。この休耕田における本種の個体数はおびただしいもので、同時に得られた

他のゲンゴロウ科甲虫7種の全個体数よりもはるかに多いほどだった。戦前の藤沢市片瀬産の標本も検している。県初記録種。

チャイロチビゲンゴロウ *Liodessus megacephalus* (GSCHWENDTNER)

29頭, 三浦市江奈湾口, 7. IV. 1986

海岸の岩礁地帯の塩分を含む水溜りに棲息する種として知られ, 上の記録も岩礁地帯の汀線から10~30m程度離れた浅い水溜りからのものである。昼間も活発に泳ぎ回り, 交尾中の個体も多かった。従来の神奈川県からの記録は平野(1985)の城ヶ島のみだが, 露木繁雄氏によれば三浦市三戸の岩礁地帯でも目撃しているというので, 三浦半島ではかなり広く分布しているものと思われる。

チビゲンゴロウ *Guignotus japonicus* (SHARP)

1頭, 横浜市緑区寺家町, 8. IX. 1986; 4頭, 横須賀市長坂鳴塚, 19. V. 1986; 10頭, 同市秋谷前田川流域, 4. V. 1986; 1頭, 同, 19. V. 1986; 1頭, 相模原市神沢, 6. IX. 1986; 2頭, 城山町滝尻, 7. IX. 1986; 3頭, 清川村宮ヶ瀬, 11. VII. 1986; 1頭, 同, 4. X. 1986

浅い水溜り, 特に何日か雨が降らない場合には干上ってしまう場所に多かった。横須賀市長坂鳴塚ではきわめて多くの個体を目撃した。

コシマチビゲンゴロウ *Potamonectes hostilis* SHARP

2頭目撃, 相模原市田名, 6. IX. 1986; 12頭, 同市神沢, 17. IV. 1986; 7頭, 同, 6. IX. 1986; 1頭, 同市上大島, 28. V. 1986; 8頭, 城山町葉山島, 28. IV. 1986; 5頭, 清川村宮ヶ瀬, 11. VII. 1986; 2頭, 同, 4. X. 1986

相模川と宮ヶ瀬の人工水路から得た。相模川においては本流のよども, 本流から枝岐れた小流, 伏流水の湧出部付近, 河原の水溜りなどに棲息し, 個体数は概して多い。特に夜間は行動が活発で, 1㎡当たり100頭以上観察できた場所もある。宮ヶ瀬では新しく造られた人工水路の池部分で見つかり, 個体数は比較的多い。他には平野(1984)による西丹沢からの記録がある。

ゴマダラチビゲンゴロウ *Neonectes natrix* (SHARP)

1頭, 相模原市神沢, 6. IX. 1986; 7頭, 同, 7. IX. 1986; 1頭, 愛川町角田, 17. IV. 1986, 新井一政採集; 3頭, 津久井町青野原, 5. V. 1986, 秋山秀雄採集

相模原市では前種と混じて得られたが, 個体数は

はるかに少なく, また棲息場所も本流のよどもと伏流水の湧出部付近に限られていた。岡野(1941)のリストにあるが, 正式なものとしては西村・岸(1986)による愛川町角田の記録が初めてのものである。

ツブゲンゴロウ *Laccophilus difficilis* SHARP

1頭, 相模原市神沢, 7. IX. 1986

相模川左岸の河原に生じた水溜りから得た。

ルイスツブゲンゴロウ *L. lewisius* SHARP

15頭, 横須賀市秋谷前田川流域, 4. V. 1986; 8頭, 同, 19. V. 1986

ケシゲンゴロウが優占な休耕田とそこからやや離れた水田の2ヶ所から得た。県初記録種。

コウベツブゲンゴロウ *L. kobensis* SHARP

1頭, 三浦市引橋, 8. IV. 1978, 大場信義採集(横須賀市自然博物館蔵)

県初記録種。この標本は大場(1981)がアヤナミツブゲンゴロウ *L. sharpi* RÉGIMBART として報告したもので, ここに訂正しておく。アヤナミツブゲンゴロウ(シャープツブゲンゴロウ)は全国的には普遍的な種であるが, 今のところ神奈川県産の標本を見ていない。

セスジゲンゴロウ *Copelatus japonicus* SHARP

1♀, 相模原市当麻, 6. IX. 1986, 長谷川道明採集; 1頭, 寒川町一之宮, 13. IX. 1986, 岸一弘採集

相模原市の個体は休耕田から, 寒川町の個体は灯火採集によるもので, 双方とも次種と混じて得られた。♀は次種と紛らわしい場合があるが, 体はやや幅広く, 上翅は淡褐色がかった濁黄色で基部の黄色帯が明瞭なことから区別できる。県初記録種。

ホソセスジゲンゴロウ *C. weymarni* BALFOUR-BROWNE

6頭, 横浜市緑区新治町, 29. IV. 1986; 6頭, 同区三保町, 29. IV. 1986; 2頭, 横須賀市秋谷前田川流域, 4. V. 1986; 3頭, 相模原市当麻, 6. IX. 1986; 12頭, 同市田名, 6. IX. 1986; 2頭, 寒川町一之宮, 13. IX. 1986, 岸一弘採集; 1頭, 城山町穴川, 28. IV. 1986

休耕田, 水溜り, 流れのゆるやかな溝などで得たが, 水深が1~2cm以下ときわめて浅く, 何日か降雨がなければ干上ってしまうような水域にむしろ多かった。寒川町の個体は灯火に飛来した。体型や色彩にいくらか変化が見られ, 上翅基部にかなり明瞭な褐色部を生じる個体もあった。他には丸山(1971)による川崎市多摩区中野島と平野(1984)の西丹沢

帚沢からの記録がある。

キベリマメゲンゴロウ *Platambus fimbriatus* (SHARP)

1頭, 相模原市神沢, 6. IX. 1986, 新井一政採集; 87頭, 同, 7. IX. 1986

相模川本流左岸のよどみで次種とともに得た。新井氏採集の1頭は河原の水溜りからのものだが、増水によって2~3日前は冠水した場所であり、本流に棲息していたものが取り残されたものと推定される。従来 of 県下からの記録は SCHÖNFELDT (1886) のカタログ中の箱根という記述と、岡野 (1941) のリストに掲げられているだけ。

モンキマメゲンゴロウ *P. pictipennis* (SHARP)

2頭, 横浜市緑区三保町, 29. IV. 1986; 40頭, 同市磯子区永取沢, 6. V. 1986; 129頭, 逗子市・葉山町二子谷, 18. V. 1986; 53頭, 横須賀市秋谷前田川, 4. V. 1986; 76頭, 同, 19. V. 1986; 2頭, 相模原市神沢, 28. V. 1986; 36頭, 同, 7. IX. 1986; 78頭, 厚木市広沢寺温泉, 26. V. 1986; 2頭, 城山町小倉串川, 14. VI. 1986, 岸一弘採集; 3頭, 清川村宮ヶ瀬, 4. X. 1986; 7頭, 同, 24. X. 1986

清流にきわめて多く、1ヶ所のよどみに100頭以上見られることも珍しくない。5月に新成虫が羽化脱出するらしく、その頃の大部分の個体が未成熟である。原則として止水域には棲息しないが、新成虫はこの限りではないようで、例えば逗子市・葉山町二子谷においては河原に生じた水溜りにも多数の未成熟個体が見出された。黄紋は前胸背両側にも現れるものから上翅がほとんど無紋となるものまで変化が著しい。

サワダマメゲンゴロウ *P. sawadai* (KAMIYA)

6頭, 清川村宮ヶ瀬, 24. X. 1986

中津川の1支流、布川の河原に生じた水溜りに前種に混じて見られた。神奈川県からは大場 (1981) による三浦半島の記録があるが、標本を検したところクロズマメゲンゴロウの誤りだったので、今回は事実上の初記録となる。

クロマメゲンゴロウ *Agabus optatus* SHARP

1頭, 相模原市神沢, 7. IX. 1986, 長谷川道明採集

相模川に面した段丘崖下の湧水により生じた水溜りから得られた。県下では他に倉形 (1971) による西丹沢皆瀬川と平野 (1981) による小田原市早川の採集例しか知らない。

マメゲンゴロウ *A. japonicus* SHARP

2頭, 横浜市緑区寺家町, 15. VIII. 1985; 15頭, 同, 27. X. 1985; 1頭, 同区新治町, 29. IV. 1986; 4頭, 同区三保町, 29. IV. 1986; 3頭, 同市旭区上白根, 8. IV. 1986; 1頭, 葉山町二子谷, 18. V. 1986; 1頭, 横須賀市秋谷前田川流域, 4. V. 1986; 3頭, 相模原市当麻, 28. V. 1986; 5頭, 同市神沢, 17. IV. 1986; 2頭, 秦野市蓑毛, 11. VIII. 1986, 岸一弘採集; 1頭, 厚木市七沢, 26. V. 1986; 2頭, 同市広沢寺温泉, 26. V. 1986; 1頭, 城山町葉山島, 28. IV. 1986; 2頭, 同町穴川, 28. IV. 1986; 1頭, 箱根町仙石原, 19. VI. 1986

各地の止水域に普通に見られる。5月頃に未成熟個体が多いので、この頃に新成虫が出現するものと思われる。

クロズマメゲンゴロウ *A. conspicuus* SHARP

2頭, 横須賀市秋谷前田川流域, 4. V. 1986; 11頭, 同, 19. V. 1986; 1頭, 相模原市神沢, 28. V. 1986

休耕地と相模川左岸の段丘崖下の湧水により生じた水溜りから得た。横須賀市における5月4日の個体は未成熟で、5月19日の個体も一部が成熟していなかったことから、5月上中旬頃に新成虫が現れるものと思われる。県初記録種。

ヒメゲンゴロウ *Rhantus pulverosus* (STEPHENS)

3頭, 横浜市緑区寺家町, 27. X. 1985; 1頭, 同区新治町, 12. IV. 1986; 5頭, 同市旭区上白根, 8. IV. 1986; 1頭, 同市磯子区永取沢, 4. V. 1986, 中村進一採集; 5頭目撃, 同市栄区上郷, 24. VII. 1986; 1頭, 横須賀市秋谷前田川流域, 19. V. 1986; 1頭, 寒川町一之宮, 13. IX. 1986, 岸一弘採集; 17頭, 相模原市神沢, 17. IV. 1986; 1頭, 同, 28. V. 1986; 3頭, 同市上大島, 28. V. 1986; 4頭, 厚木市七沢, 26. V. 1986; 1頭, 城山町葉山島, 28. IV. 1986; 1頭, 同町穴川, 28. IV. 1986

神奈川県 of 止水域では最も普通な種である。前胸背の黒紋の形や体型に変化がある。

ハイイロゲンゴロウ *Eretes sticticus* (LINNÉ)

1頭, 横浜市緑区三保町, 8. IX. 1986

遊水池で得た。県内各地に棲息していると思われるが、深い水溜りをほとんど調査していないためか上記の個体しか採集できなかった。西村正賢氏は三

浦市城ヶ島の岩礁地帯の水溜りで多数を得ている。
シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringi* CLARK

1頭, 城山町穴川, 28. IV. 1986; 1頭, 同, 7. IX. 1986

道路脇の水溜りと休耕田中の直径2m未満の溜池から得た。県下ではかなり少なくなった気がする。
コシマゲンゴロウ *H. grammicus* (GERMAR)

3頭, 横浜市緑区寺家町, 27. X. 1985; 3頭, 同区三保町, 29. IV. 1986; 1頭, 横須賀市秋谷前田川流域, 4. V. 1986; 1頭, 同市長坂鳴塚, 19. V. 1986; 1頭, 寒川町一之宮, 13. IX. 1986, 岸一弘採集; 1頭, 相模原市神沢, 17. IV. 1986; 多数目撃, 同, 28. V. 1986; 1頭, 厚木市七沢, 26. V. 1986; 2頭, 城山町葉山島, 28. IV. 1986; 多数目撃, 同町穴川, 28. IV. 1986

神奈川県の水域ではごく普通に見られる。

マルガタゲンゴロウ *Graphoderus adamsii* (CLARK)

3頭, 藤沢市片瀬, 29. VIII. 1935, 山本玄採集 (横須賀市自然博物館蔵)

上記は戦前の標本だが, 横浜市港北区産の比較的近年に得られた1個体を見たことがある。これまでは岡野(1941)のリストに示されていた。

クロゲンゴロウ *Cybister brevis* AUBÉ

1♀, 横須賀市秋谷前田川流域, 4. V. 1986, 秋山秀雄採集

休耕田から得られた。大場(1981)により同じ横須賀市産の1954年の1個体が記録されているが, 現在も棲息することが確認された。

コガタノゲンゴロウ *C. tripunctatus orientalis* GSCHWENDTNER

1頭, 藤沢市片瀬, 29. VIII. 1935, 山本玄採集 (横須賀市自然博物館蔵)

戦前の標本だが, きわめて貴重な記録と思われる。これまでは岡野(1941)のリストに示されていた。

以上, 神奈川県の水棲甲虫類をコップゲンゴロウ科1種, ゲンゴロウ科24種を記録した。このうちゲンゴロウ科については県内からなお次の4種が記録されており, 合計28種となったが, 今後の調査によってはさらに2~3の種が追加される可能性が高い。

(1)クロロマメゲンゴロウ *Agabus insolitus* SHARP

大場(1981)が清川村一ノ沢から記録した。標本は横須賀市自然博物館蔵。

(2)キベリクロヒメゲンゴロウ *Ilybius apicalis* SHARP

岡野(1941)のリストにあるだけで詳細は不明。全国的には少ない種ではないので, いずれ県内から再発見されるものと思われる。

(3)ゲンゴロウ *Cybister japonicus* SHARP

最近の県内からの採集例はほとんどなく, わずかに1984年の相模湖産の1個体を検しただけである。

(4)シャープゲンゴロウモドキ *Dytiscus sharpi* WEHNCKE

岡野(1941)のリストにあるだけで詳細は不明。本種の関東地方における記録は1936年以降途絶えていたが, 1984年になって千葉県から再発見されるに至り(佐藤, 1986), 神奈川県での棲息確認に望みを残している。

文 献

- 平野幸彦 1981 神奈川県産甲虫雑記 I. 神奈川県報(64): 19-22.
平野幸彦 1984 続・神奈川の甲虫. 神奈川県報(70): 27-48.
平野幸彦 1985 続・神奈川の甲虫(II). 神奈川県報(75): 1-18.
倉形和男 1971 山北町皆瀬流域産甲虫類目録 I. 神奈川県報(37): 27-33.
丸山 清 1971 川崎市北部の甲虫. はんみょう(3): 31-69. 多摩高校生物部.
西村正賢・岸 一弘 1986 中津川(神奈川県)でゴマダラチビゲンゴロウを採集. 神奈川県報(80): 82.
大場信義 1981 神奈川県の水棲甲虫類(除ガムシ類). 神奈川県昆虫調査報告書: 383-384. 神奈川県教育委員会.
岡野磨瑠郎 1941 神奈川県産甲虫誌(1). 蟲の世界 4: 130-133.
佐藤正孝 1985 コップゲンゴロウ科・ゲンゴロウ科. 原色日本甲虫図鑑 2: 182-201. 保育社.
佐藤正孝 1986 水棲および水辺甲虫類. 板橋区昆虫類等実態調査: 55-57. 東京都板橋区.
SCHÖNFELDT 1886 Catalog der Coleoptera von Japan.

(神奈川県立博物館)